

高槻市文化財資料 1

紅 莊 山 祭 祀 遺 跡

1961年9月

高 機 市 教 育 委 員 会

はしがき

1. このシリーズは、高槻市にのこるいろいろの文化財を調査研究し、その成果をまとめたものです。主として、高槻の歴史や文化財を理解する基礎資料をまとめていきたいと思つています。郷土高槻叢書と併せてご利用下さい。
2. 各時代の基礎資料を、時代をおつて取上げますが、才1集として、紅葉山祭祀遺跡の出土品をまとめました。
以下、弥生時代の石器・土器、須恵器、高槻の奈良・平安遺文、-----と統けていく予定です。
3. 才1集の企画・作製は、社会教育係山下歟、市史編さん委員会西谷正が担当しました。

調査参加者（敬称略）

同志社大学	水野正好
	八木久栄
	田代克己
	三木倭子
立命館大学	喜谷美宣
	村上誠揚
	筒村良人
	葛原克人
奈良学芸大学	西谷正

紅葦山祭祀遺跡について

1961年5月、高槻市教育委員会による紅葦山古墳調査中に、高槻市別所の服部茂氏の知らせによつて、高槻市安満の紅葦山の北側、紅葦山古墳の西北約350mのところで、須恵器の出土したことがわかつた。そこで現地を踏んだところ、土砂くずれによつて、一部赤い山肌のみえている傾斜面に、須恵器壺や紡錘車などの出土していることを認め、付近を検査したところ、さらに、須恵器蓋杯などを検出した。

場所は東西にのびる低い紅葦山丘陵の北側の山麓にあたる。成合地区から安満地区に入るところに檜尾川にかかる譽手橋があるが、この遺跡はその付近から西方に向つて入りこんだ狭い谷の、現在水田となつている一番奥のところに面している。

遺物の出土した場所はかなり急な傾斜面の下部で、少しく平面のくぼまつたところであつて、すぐ背後には丘陵の尾根をひかえているが、景勝の地ではない。

出土地点や遺物の出土状況の観察によると、須恵器などを副葬した古墳や、須恵器を焼いた窯跡あるいは人々の生活した住居跡などとも考えられず、何らかの祭祀遺跡と考えられ

選手名	種類	口	頭部	体	脚	尾	感	色調	質	備考
1 広口器	短く外反する口頭部でその上端は断面が半円形を呈す。	上端部付近では、円形を呈す。	上端部には細い側溝状の凹がある。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青色。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青色。	青色。	柔軟あまりよくない。	
2 直口器	短く外反する口頭部でその上端部付近で少し内凹する。頭部には細い側溝状の凹がある。	上端部付近で少し内凹する。頭部には細い側溝状の凹がある。	外に傾斜して立つ口頭部でその中央に二つの凹部が述べている。頭部下半には細い側溝状の凹がある。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青白色。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青白色。	青白色。	柔軟かなり含み、柔軟あまりよくない。	
3 直口器	外に傾斜して立つ口頭部でその中央に二つの凹部が述べている。頭部下半には細い側溝状の凹がある。	外に傾斜して立つ口頭部でその中央に二つの凹部が述べている。頭部下半には細い側溝状の凹がある。	やや張った腰からゆるやかに下方へ下りる。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青色。	丸底、開き目を含む長い舌に連絡約5cmの円孔がある。	青色。	青色。	柔軟良好。	口様の一端、脣部、内部底部などに茶褐色の皮毛色。
4 蓋杯	はくはく立てる歯。厚み萼く深い。	はくはく立てる歯。厚み萼く深い。	はくはく立てる歯。厚み萼く深い。	脣部上面は丸く切手状、前毛目が側につく。	暗灰色。	脣部上面は丸く切手状、前毛目が側につく。	暗灰色。	暗灰色。	堅強。砂粒を少し含む。	
5 薄杯	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	丸底、開き目が側につく。	暗灰色。	丸底、開き目が側につく。	丸底、開き目が側につく。	暗灰色。	堅強を少し含む。	
6 杯	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	立ち上がりは高く、上端には細い側溝がめぐる。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	丸底、開き目を含む長い舌である。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	堅強良好。	
7 勉強車	直角約5cm、高さ1.25cmの滑石製。中央に径0.6cmの円孔がある。断面は鏡映円錐形。	直角約5cm、高さ1.25cmの滑石製。中央に径0.6cmの円孔がある。断面は鏡映円錐形。	直角約5cm、高さ1.25cmの滑石製。中央に径0.6cmの円孔がある。断面は鏡映円錐形。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	丸底、開き目を含む長い舌である。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	堅強良好。	
8 鉄器	塊状で2cm×5mm、長さ3.4mmを測るが、1.0cm内外の刀子と考えられる。厚さ1.5mmで長い。	塊状で2cm×5mm、長さ3.4mmを測るが、1.0cm内外の刀子と考えられる。厚さ1.5mmで長い。	塊状で2cm×5mm、長さ3.4mmを測るが、1.0cm内外の刀子と考えられる。厚さ1.5mmで長い。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	丸底、開き目を含む長い舌である。	丸底、開き目を含む長い舌である。	暗灰色。	堅強良好。	

遺跡付近図

1
500



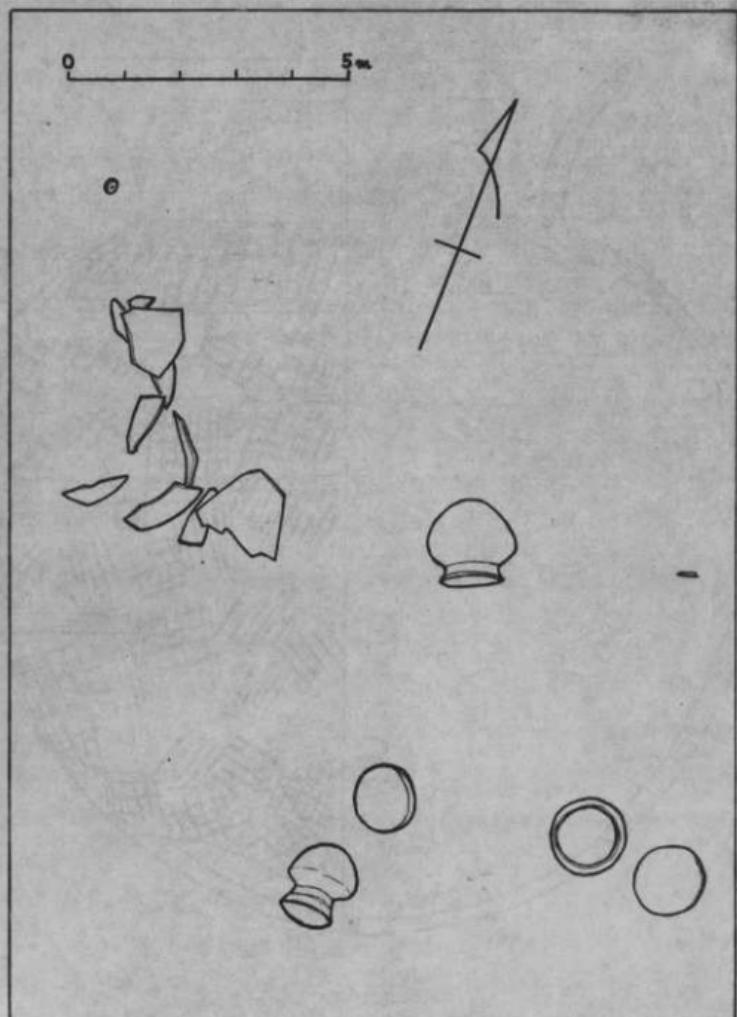
日本道路公团原図

---線は名神高速道路



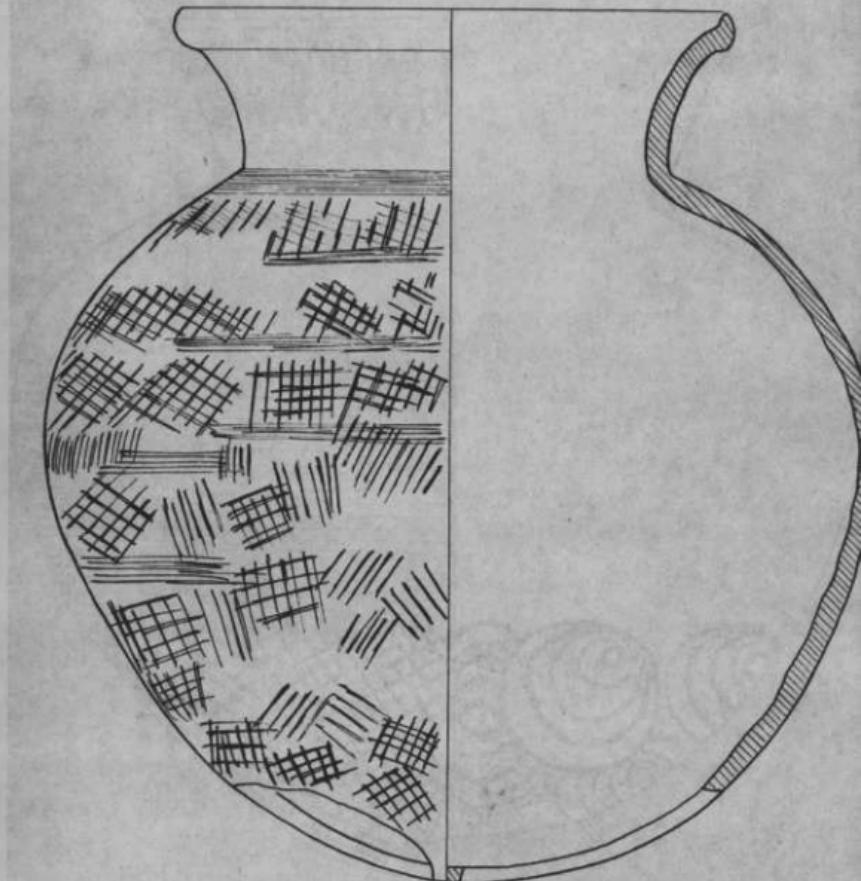
遺物出土状況

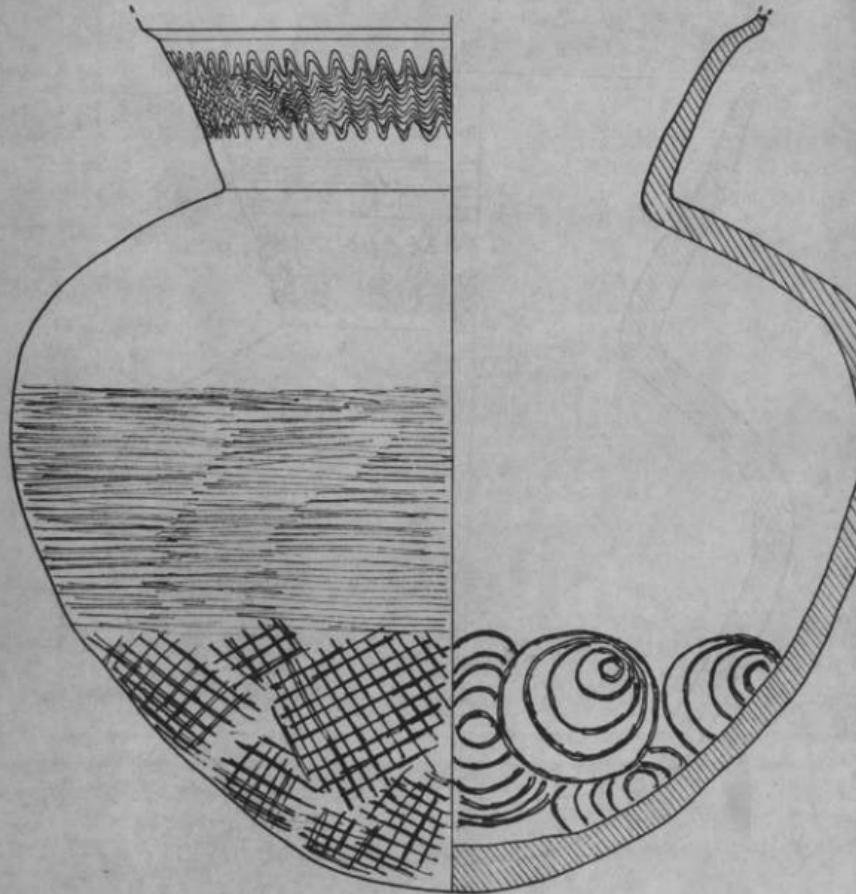
10



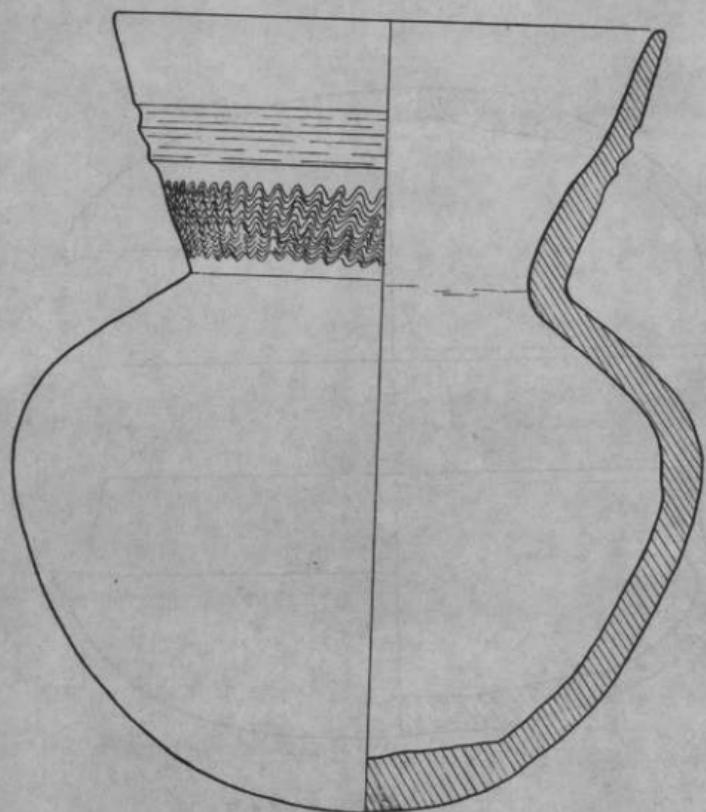
三木傳子・八木久榮 実測

遺物出土状況 (1) は 270 年と可能性を考慮していながら既に
既にない。

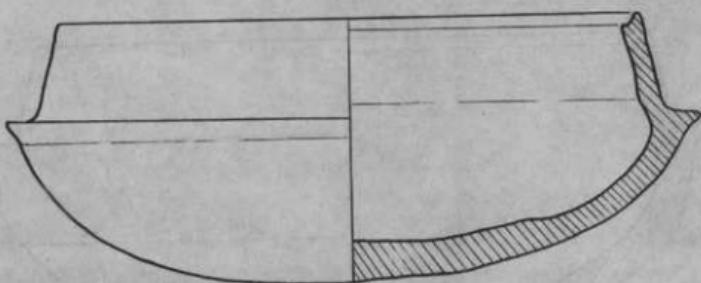
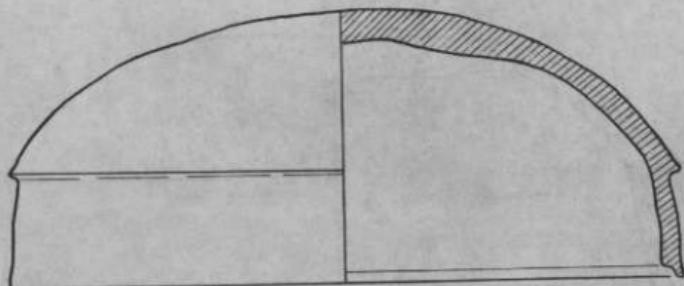




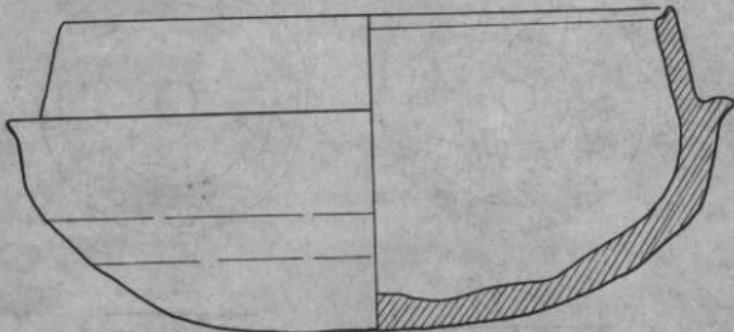
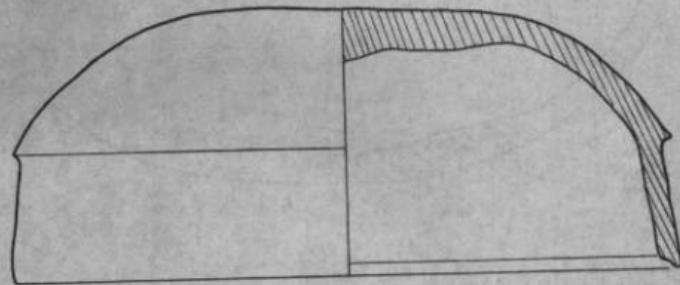
3. 頸唇卷 直口壺



千 總 惠 器 蓋 杯



5. 順惠春 蓋杯



6. 條紋器 杯

7. 紡錘車

8. 鈸器

